

公明党の主張が実現しました!!

平成24年度予算決まる!

聴覚障がい者用 火災警報器の対象者を拡充!

聴覚障がい者の方は、音による伝達方法では災害の発生を知ることが困難であります。「日常生活用具給付等事業」は、利用者の状況に応じて各市町村が事業を実施することになっております。本事業における聴覚障害者火災警報器の設置普及を進める上で対象者を身体障害者手帳3級以下の方にも拡充をします。

AEDが コンビニエンスストアへ!

突然の事故や病気により心肺停止状態となった傷病者に対し、現場に居合わせた人が、少しでも早く自動体外式除細動器（AED）を使用した応急手当が出来る環境を作ります。市内30箇所のコンビニエンスストアへ配備し、緊急の際に24時間いつでも、誰もが使用できるよう整備します。



耐震診断・改修等費用助成を拡大!!

東日本大震災以降、防災の観点から今まで以上に住宅の耐震が考えられています。三郷市は住宅の耐震化を促進し、「安全でいつでも安心して住めるまちづくり」を実現するために、耐震診断・耐震改修等費用助成事業を拡大いたしました。更に、県内で初めて旧耐震（昭和56年5月以前に建築された）の木造住宅所有者を対象に、6月下旬にダイレクトメールを送付すると共に、市民の問い合わせ・相談・申し込みなどに対応する窓口も開設されます。

学校・保育所給食食材の放射性物質の測定開始

本年1月より、学校・保育所の給食食材の放射性物質の測定を外部業者に委託して実施してまいりましたが、市で放射性濃度測定機を購入するとともに、鷹野学校給食センター内および市庁舎内に新たに放射能濃度測定室を設置し、3月13日より市独自で放射性物質の簡易測定を開始しました。



給食食材の簡易測定

給食センター内の測定室では、月・水・金曜日が学校、火・木曜日が保育所の給食食材をサンプリングし、簡易測定しています。測定結果については、市のホームページ等で公表しています。また、市庁舎内の測定室では、市内で生産された販売目的の農産物に限り、簡易測定を実施しています。なお、4月から食品の放射性物質に対して厳格化された国の新基準が適用されましたが、それに対応できる簡易測定機を使用しています。

三郷市は昭和四十七年五月三日の市制施行から四十年という節目を迎えます。本年度の一般会計予算は、前年度に比べ9.3%増の40億3310万円と過去最大となりました。当初予算が400億円を超えたのは市制施行以来初めてです。

歳入では固定資産税の評価替えの年にあたるため、若干の落ち込みが見込まれるものの、厳しい経済状況が続いている中であっても、法人市民税は増収となり、税制改正に伴い個人市民税も増収となる見込みです。

歳出では少子高齢化が進む中で、民生費の割合は依然として多くを占めています。第4次三郷市総合計画で掲げるまちづくり方針の実現を図るなど、私ども公明党三郷市議団の数々の市民要望が、反映された予算編成となっております。

今後とも、更に安全で、安心して暮らせるまちづくりを全力で推進してまいります。



右から、中野、酒巻、金澤、鈴木、佐藤



公明みさと

2012年
春季号

平成24年4月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所（公明党控室）

TEL 048(953)

1111

市制施行40周年主な記念事業

事業名	実施時期(日付)	場所	事業概要等
1 みさと船着場スプリングフェスティバル	5月19日(土)	みさと船着場	花畑の開花に合わせたイベント 花摘みや江戸川遊覧、川カフェを実施
2 におどり公園ステージ設置事業	4月~5月	におどり公園	平成23年度末でステージ設置が完了したので、春の花いっぱい事業において、そのお披露目をする
3 サマーフェスティバル花火大会	8月25日(土)	江戸川運動公園	流山花火大会と同時開催の花火大会
4 第6回全国緑のカーテンフォーラム	9月2日(日)	文化会館	緑のカーテンに興味がある方、実践している個人・団体の振興のために全国大会を実施
5 NHK 全国放送公開番組【BS プレミアム】「ワンパッコロ! キャラともワールド~みんな DE どーもくん~」	9月16日(日)	文化会館	公共の福祉と地域文化の活性化のために豊かで質の高い番組を放送する日本放送協会の「公開番組」を開催する
6 市民大学(計5講座程度)	10月	瑞沼市民センター	立正大学のデリバリーカレッジとして、大学教授の講演を通して知識の向上、生きがいづくりを目的とする
7 記念式典	11月10日(土)	文化会館	三郷市市制施行40周年を祝う記念式典を挙行し、直近10年間に市の発展に貢献された方へ感謝状を贈呈するとともに、この節目にふさわしい祝賀催事を実施する
8 消防フェア	11月11日(日)	文化会館	著名人による消防特別講演を実施する他、文化会館広場において、火災予防や消防PRを体験型で行う
9 市制施行40周年記念要覧の発行	11月完成	公共施設等	各公共施設への設置及び記念式典で配布予定
10 日本一の読書のまち三郷づくり「第4回うちどくサミット in 三郷」	11月30日~12月1日	文化会館	日本一の読書のまち三郷づくりの一環として、例年実施している読書フェスティバルに替えて「うちどくサミット」として取り組む

公明党市議団



金沢 とみ子
☎952-9301



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554

▼お問い合わせは各議員へ！

北部に適応指導教室「みずめま」が開設

適応指導教室「みずめま」は、不登校の児童・生徒が学校復帰を目指すために、個々の事情に合わせ、通いながら学習支援や生活指導が受けられる施設です。今までは、南部地域の八木郷小学校1ヶ所の為、北部地域の児童・生徒が通うのは大変不便な状況でした。そのため、保護者の方々から早期開設の要望があり、本年4月に瑞沼市民センターに開設されました。



高齢者肺炎球菌予防接種の助成開始

新たに高齢者の肺炎球菌ワクチン接種の助成が開始されます。対象は、年齢75歳以上で、過去に同予防接種を受けていない方。約8,000円の費用に対し、4,000円を助成します。

日本人の肺炎による死亡率は、がん、心疾患、脳血管疾患に続いて4番目。また、肺炎の原因の1位が肺炎球菌で、全体の25~40パーセントを占めています。肺炎の重篤化の予防、健康保持の効果が期待されます。

一般質問

自転車交通安全対策の強化を

自転車は身近な乗り物で利用者が急増していますが、自転車の関係した交通事故も増加しています。当市の自転車事故の占める割合は全国平均を上回っており、極めて重要な課題です。自転車交通安全対策を強化すべきと考え、次の点を質問しました。

- ①安全運転講習の現状と今後の取り組みは
- ②自転車損害保険等への加入促進を
- ③県条例に児童・生徒、高齢者のヘルメット着用の努力義務が明記されましたが、その周知とヘルメット購入代金に対する補助制度の導入を



避難所運営ゲーム(HUG)の活用を!

避難所運営ゲーム HUG は、避難された方々の年齢や性別それぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

現在、首都直下型大震災も予測されておりますが、被災者がそれぞれ避難所に集まってきた時、誰が中心となって、どの様に避難所を運営し、役割分担をしていくかが一つの大きな課題です。

そこで次の点について質問しました。

- ①職員研修としての活用は
- ②自主防災組織や町会長研修会等での活用

